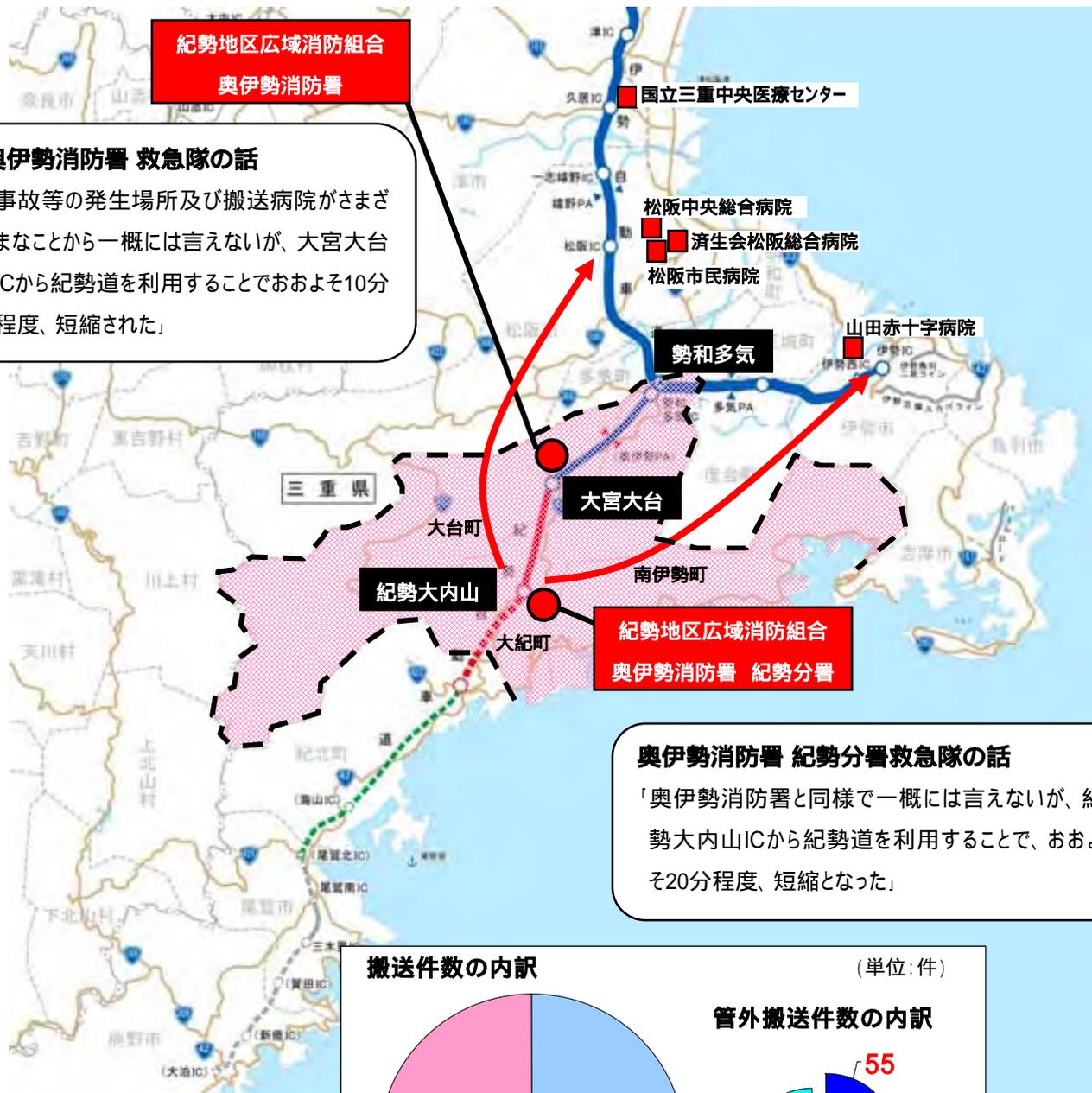


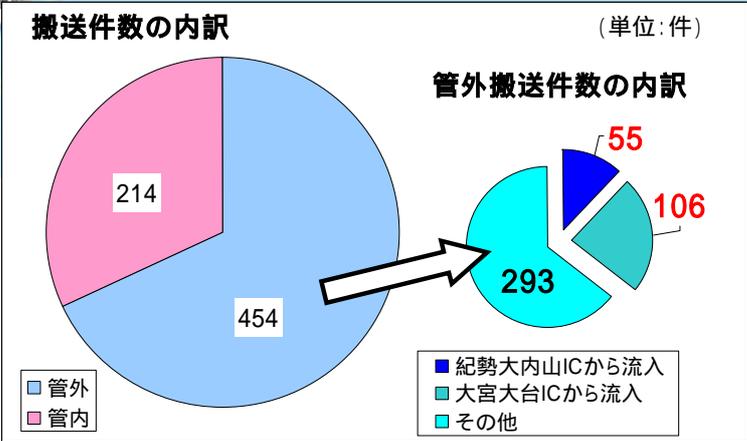
6. 救命救急搬送への貢献

- ・紀勢道周辺の大台町、大紀町、南伊勢町を管轄している紀勢地区広域消防組合では、急病者や負傷者の管外搬送や、管内から管外への転院搬送に紀勢道を活用しています。
- ・奥伊勢消防署では、開通後の約6ヵ月間で454件の管外搬送を行っており、そのうち55件は紀勢大内山ICから紀勢道を利用した、松阪市内や伊勢市内の病院への搬送でした。
- ・奥伊勢消防署からは時間短縮に役立っているとの評価を受けており、「命の道」として着実に利用されています。



奥伊勢消防署 救急隊の話
 「事故等の発生場所及び搬送病院がさまざまなことから一概には言えないが、大宮大台ICから紀勢道を利用することでおよそ10分程度、短縮された。」

奥伊勢消防署 紀勢分署救急隊の話
 「奥伊勢消防署と同様で一概には言えないが、紀勢大内山ICから紀勢道を利用することで、およそ20分程度、短縮となった。」



2009年2月7日(土)から8月31日(月)までの救急搬送件数
 NEXCO中日本によるヒアリング結果